

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ(<http://www.miegyoren.or.jp/>) でも閲覧できます(PDF ファイル)

ヒジキ場再生の取組－南伊勢町神前浦－



南伊勢町神前浦では、漁場保全活動の一環としてアラメの藻場再生に取り組んでいますが、今年は、三重大学の前川名譽教授などの協力を得て、漁業者を中心としたヒジキ場の再生活動を行っています。

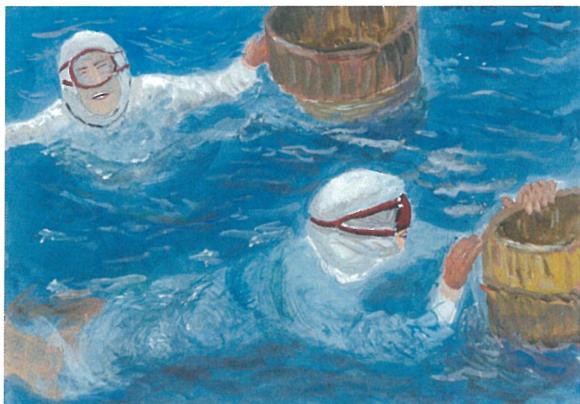
6月8日(土)、前川名譽教授による「ヒジキの生態」や「藻場の再生方法」などの講演の後、二か所の漁場に移動し、磯掃除として各自持参したハンマーなどで、岩盤に付着したカキやフジツボなどを除去しました。

また、種子を取るためのヒジキ母藻を採取して、南伊勢町種苗センターの水槽で追熟させ、6月11日に種子を回収し、磯掃除をした漁場に希釈して散布しまし

た。

このようなヒジキの再生は、漁業者のみでも行うことができる藻場再生手法として注目されており、今後、ヒジキの発芽・成長を追いかけるのが楽しみな取り組みです。

『第35回三重県海の子作品展』作品募集がスタート！



(第34回 三重県知事賞)

「第35回三重県海の子作品展」の募集が始まりました。“海を愛し、漁業に対する理解と認識を高めるとともに、漁業後継者の育成強化を図ること”を目的として毎年実施している同作品展は、県下沿海市町の小中学校を対象に募集を行い、審査の上、各賞を選定します。上位者は全国展へ出展し、昨年はNHK会長賞を2名、農林中央金庫理事長賞を1名が受賞しました。応募締切は平成25年9月9日、実施要領、応募要領につきましては三重県漁業協同組合連合会ホームページ

ジ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) に掲載しておりますので、皆様の応募をお待ちしております。

**全国海難防止強調運動実施中
～海難ゼロへの願い～**

7月16日(火)から31日(水)までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、全国海難防止強調運動が実施されています。下記事項に注意して、安全な操業及び航行を心がけて下さい。

【重点事項】

- 1 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- 2 小型船の安全対策の徹底



**青い羽根募金へのご協力のお願い
(三重県水難救済会)**

(公社)日本水難救済会、地方水難救済会は、7、8月を「青い羽根募金強調運動期間」として、募金活動を展開しています。

青い羽根募金は、海で遭難した人々の救助を行うため、漁業や会社員等の職業を持つ、全国で約5万4千人のボランティア救助員の活動を支援するもので、ライフジャケットやロープなどの救助活動に必要な資器材の購入や日頃の救助訓練などに活用されています。

日本水難救済会、地方水難救済会では、海の犠牲者皆無を目指し、今年も広く募金の呼びかけを行っていきますので、ご協力をお願いします。

☆振込先 :

三重県信用漁業協同組合連合会
本店 普通 0814124
(信漁連窓口で募金送金と伝えて頂くと、手数料はかかりません。)



【主な予定】—————

- 20日
 - ・漁業就業支援フェア(大阪)
 - ・農林漁業就業支援フェア(津)
 - ・県下一斉海浜清掃(中央会場:津)
 - ・三重県漁業士会・漁青連通常総会(松阪)
- 21日
 - ・参議院議員選挙
- 23日
 - ・漁業経営セーフティーネット構築事業説明会(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。